

【月案】10月・0歳児

今月の保育のポイント

- 朝夕は寒く、日中の気温は暑く、差があるので、子どもの熱、顔色、食欲、睡眠時の様子には注意しておき、衣服の調節に配慮する。
- ハイハイ、掴まり立ち、ひとり歩きと、それぞれの発達段階の子どもがいる。掴まらずにゆっくりと立ち、しゃがんで座るような動きをしている中で、ハイハイの子どもがぶつかっていくようなこともあるので、安全に留意して見守るようにする。
- ひとり歩きを始める子どもが増えてくる。安全に注意しながら、戸外で歩くことを存分に楽しめるよう、平坦で歩きやすい場所だけではなく、少しデコボコしている場所で遊ぶなど、足からの刺激を得られるように環境を提供する。
- 手づかみで意欲的に食べる、初めて立とうとしているなど、子どもの成長に関する気づき、発見を子どもや保護者と達成感を分かち合うことで、子ども、保護者、保育士が共に1歩ずつ成長できるようにしていく。

月のねらい

- 身体を動かすことを楽しむ。
- スプーンに興味を持って自分で持ったり、コップを自分で持とうとしたりする。
- 散歩に出かけ、身の回りの自然に興味を持つ。
- 体調に配慮してもらいながら好きな遊びを楽しみ、機嫌よく過ごす。
- 安全な環境の中でのびのびと過ごせるようにする。
- 保育者との触れ合いや簡単なやりとりを楽しむ。
- 指先を使いながら興味がある玩具で遊ぶことを楽しむ。
- 喃語や言葉を受け止めてもらい、発声することを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：食べこぼしながらでも、自分で意欲的に食事を進める（養護）
- 2週目：身の回りの自然に触れ、草花などに親しむ（教育）
- 3週目：保育者と触れ合い遊びを楽しみ、関わりを深める（教育）
- 4週目：つかまり立ちをしたりハイハイをしたりし、身体を動かすことを楽しむ（教育）

その2

- 1週目：手先を使ったり、歩いたりなどして探索活動を楽しむ（教育）
- 2週目：気温や活動に応じて衣服の調整をして快適に過ごす（養護）
- 3週目：音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ（教育）
- 4週目：指差しや喃語で自分の想いを表現する喜びを味わう（教育）

その3

- 1週目：戸外で過ごす心地良さを味わう（教育）
- 2週目：安全な環境の中で全身を動かすことを楽しむ（教育）
- 3週目：機嫌や食欲等に留意し、健康に過ごせるようにする（養護）

- 4週目：保育者と一緒にハロウィンに向けた製作を楽しむ（教育）

その4

- 1週目：行動や喃語を受け止め、安定して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：運動会に参加し、雰囲気を楽しむ（教育）
- 3週目：興味がある物や玩具に触れ、遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：秋の食材を使った料理を食べてみようとする（養護）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 担任など特定の保育者との関わりがあると安心して過ごしており、関係を深めている様子が見られた。
- 室温や衣類を調節してもらいながら快適に過ごすことで、大きく体調を崩すことなく元気に過ごしていた。
- 親しみのある保育者に抱っこされると、安心して眠っていた。一定時間眠る日もあったが、日によって睡眠時間はばらつきも見られた。
- 保育者に食べさせてもらいながら、意欲的に食事を進める姿が見られた。新しい食材や固形のものも挑戦してみているが、食べ慣れないものは口から出してしまうことも多い。
- おむつを取り替えてもらう際には、保育者に声をかけてもらいながら取り替えてもらい、心地よさを感じられていた。
- 自分の気持ちが伝わらないとのけぞったり、床に伏せたりしながら思いを主張することがある。
- 食べたい食材を指差ししたり、食事介助を求めて声を出す。
- 人見知りや後追いをしていた子も、普段の生活では次第に落ち着いて過ごせるようになってきた。
- 保育者が「お片付けしようね」と言葉かけし、片付ける姿を示すと真似して片付ける。
- 高月齢児をオマルに誘うと、嫌がったり座ったりする姿が見られた。

教育（遊び）

- ハイハイや伝い歩きをしながら、それぞれ探索活動を楽しんでいた。バランスがうまく取れず尻もちをつくことも多かったが、何度も繰り返し行っていた。
- 保育者に声をかけられると、しぐさや喃語で反応する姿が見られた。名前を呼ばれたりすると嬉しそうに保育者の方を見る姿も見られた。
- 散歩に出た際には、落ち葉などにも興味を持ち、触ってみたりじっと見つめたりしていた。口に運ぼうとする子どももいたため、引き続き保育者の目が届く中で自然に触れ合う必要がある。
- 気に入っている絵本を読み聞かせてもらうことを喜び、指差しをしたり笑ったりする姿が見られた。
- 触れ合い遊びや運動遊びに喜んで参加し、身体を動かすことを楽しんでいた。
- 保育者と玩具のやりもらい遊びが出来るようになった子は繰り返し楽しむ様子が見られた。
- 音楽に合わせて体を動かしたり、保育者の動きを真似をしたりする。
- クレヨンを使ってなぐり描きをすると叩いたり腕を動かして描くことを楽しむ。口に入れそうになる子もいた。
- 歩行が安定している子は1人で歩きたい気持ちから、手を繋ぐことを嫌がるようになってきた。
- 知っている物や興味がある物を指差ししたり、声を出して教えようとする。

活動内容（3つの視点对応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**好きな場所で好きな遊びを楽しみ、機嫌よく過ごす。（健やか）
環：子どもが自由に好きな場所に移動できるよう、周囲の環境を整えておく。引っ張った際に棚の上から物が落ちてきたり、角ばった棚があったりしないように注意する。
- **活：**手づかみで意欲的に喜んで食べる。（健やか）
環：手づかみで食べる意欲を認めつつ、スプーンに興味を持った際には自分で持てるように子どもに渡すようにする。また、コップも自分で持ってみようとする姿があれば、水やお茶を入れる量を減らして子どもに渡し、支えるように援助を行う。
- **活：**保育者に食べさせてもらいながら、苦手なものも食べてみようとする。（健やか）
環：苦手な食材は小さくするなど子どもが食べやすいように配慮をし、食べられたら大いに認める声掛けを行う。
- **活：**保育者についてもらい、落ち着いた環境の中で安心してぐっすりと眠る。（健やか）
環：午睡の際には静かな環境を整え、ぐっすり眠れるようにする。
- **活：**汚れたおむつや服を変えてもらい、心地よく過ごす。（健やか）
環：「次は腕を通すよ」「新しい服は気持ちいいね」等の安心できる心地よい声掛けをしながら、スキンシップをとって心地よい時間になるように援助を行う。
- **活：**一定の時間を安心して眠り、睡眠を十分にとる。（健やか）
環：家庭での睡眠の様子や過ごし方、体調に気を配りつつ、戸外で十分に心と身体を動かして遊ぶことで睡眠をとれるように配慮をする。
- **活：**自分で手足を動かせながら、保育者と着替えを行う。（健やか・ヒト）
環：子どものペースを大切にしながら、一緒に足を通すなど着脱が出来るように声をかけたり、服を広げたりする。
- **活：**スプーン・フォークを下手握りで持ち、ご飯を食べる。（ヒト・モノ）
環：スプーンを上握りで持っている時は、さりげなく下握りに直す。普段から手首を使うスコップなどの遊びを取り入れる。
- **活：**衣服調節や室温調節を行いながら健康に過ごせるようにする。（健やか）
環：担任間でこまめに室温や気温を確認し合い、衣服調節をすることで健康に過ごせるようにする。厚着になりすぎないように留意する。
- **活：**気持ちに寄り添い、安定して過ごせるようにする。（健やか）
環：思いや欲求を主張できる温かな雰囲気作りと信頼関係の中、気持ちを丁寧に汲み取っていく。
- **活：**安心した気持ちで保育者や保護者と運動会に参加し、雰囲気を味わう。（健やか・モノ）
環：普段と違う様子を驚いたり、泣いたり、不安そうにする様子や周囲に興味津々な姿等、一人ひとりの様子に合わせて言葉かけをしたり触れ合うことで安心感に繋げる。
- **活：**安全な環境の中で伸び伸びと身体を動かせるようにする。（健やか）
環：子どもの目線になって危険な物や場所がないかを確認する。運動発達の差を考慮して空間や遊びの内容を分けたり、側で見守ることですぐに身体を支えられるようにする。
- **活：**保育者と一緒に片付けてみようとする。（健やか・モノ）
環：「ないないしようね」と言葉かけしたり、お片付けの歌をうたって興味に繋げる。真似をして片付ける姿を褒めて喜びに繋げる。日々、片付けられた心地良い空間を整え、心地良いという感覚が芽生えるようにする。

- **活：**水道に行き、手を洗おうとする。（健やか）
環：行動を大いに認めたり、様子に応じて手を添えて関わることで手を洗う喜びや綺麗になる気持ち良さに繋げる。
- **活：**声や身振りで意思表示をする。（健やか・ヒト）
環：「嬉しいね」「○○したいんだね」と目線や指差し、発声から気持ちの代弁や共感をして、表現する力やコミュニケーション能力を育んでいく。のけぞったり、危ない様子が見られる時もあるため、安全面に留意する。
- **活：**オムツに排泄したことを仕草で知らせようとする。（健やか）
環：身振り、手振りで知らせる姿を、「おしっこでたかな」「よく教えてくれたね」と十分に受け止め、喜びや清潔にする心地良さに繋げる。排尿がない時はオマルに誘い、排泄する感覚を感じられるよう無理なく関わる。

教育（遊び）

- **活：**自分の好きなところへ行って、機嫌よく好きな遊びを楽しむ。（モノ）
環：好きな遊びを好きな場所で存分に楽しめるよう、安全な環境を整える。また、おもちゃの消毒もこまめに行い、口に入れても大丈夫な状態を心がける。
- **活：**散歩に出かけ、保育者に見守られながら自然に触れる。（モノ）
環：散歩に出た際には、木の実や虫、草花の存在を知らせ、子どもが興味を持てるようにしていく。
- **活：**つたい歩きや少しずつ自分で歩き、探索活動を楽しむ。（モノ・健やか）
環：触れ合い遊びの際には、子どもが無理な体勢になっていないかよく気を付ける。手を叩いたり身体を揺らす仕草が見られた際には一緒に楽しみ、子どもが充実感を感じられるように援助を行う。
- **活：**わらべうたや触れ合い遊びを楽しむ、身体を揺らしたり手を叩いたりする。（モノ・ヒト）
環：子どもの好きなフレーズや動作を何回も行ったり歌の時間ではなくても遊びの中で入れたりするなど、生活の中に楽しい動きや歌などを溶け込ませていく。
- **活：**積木やシール貼りなどを通して、指先を使った遊びを楽しむ。（モノ）
環：シールなど細かいものを避け、口に入れないようによく見守りながら活動する。
- **活：**少しずつ友だちに興味をもち、関わろうとする。（ヒト）
環：「面白そうなことしているね」など友達の様子を知らせたり一緒にやってみるなど、興味をもてるように援助を行っていく。
- **活：**でこぼこ、坂道など、変化のある場所を歩き楽しむ。（健やか）
環：砂場やでこぼこ道、室内でマットで坂道等、変化のある場所を用意し、楽しめるようにしていく。
- **活：**発声することで表現をし、それを楽しむ。（ヒト）
環：子どもが発見したことを指さし等で知らせた時、声のやりとりになるよう積極的に答える。発見を楽しめるように散歩等多く外界に触れられるように設定する。
- **活：**保育者の姿を模倣をして楽しむ。（ヒト）
環：「どうも」「ちょうだい」等、子どもが楽しんで模倣できるように日常の遊びの中からきっかけをつくっていく。
- **活：**外靴を履いて歩くことに慣れる。（健やか）
環：歩行ができるようになってきた子は、保育者と手を繋ぎ外靴で歩いてみる。サイズ感や歩きにくさなどを確認しながら、歩く楽しさを感じられるよう関わっていく。
- **活：**保育者に話しかけてもらったり、喃語に応えてもらうことを喜び、やりとりの心地良さを感ずる。（ヒト）
環：発声したくなるような言葉かけを多く持ち、反応を温かく受け止めたり共感したりしながら、発声への意欲や保育者との心地良いやりとりに繋げる。

- **活：**発見を指差しや声で伝えることを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：同じ目線になって伝えたいことを汲み取り、「○○見えたね」「大好きな△△だね」と受け止めながら、伝える喜びを味わえるようにする。
- **活：**保育者と一緒に製作することを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：行事や季節に合った内容を担任間で話し合い、発達に応じて内容の一部を変えたりしながら、一人ひとりに合った方法で製作を楽しめるようにする。
- **活：**秋の歌や手遊びを聞いたり、手足を動かすことを楽しむ中で秋の自然を感じる。（ヒト・モノ）
環：ゆっくりと笑顔でうたったり視覚教材も取り入れながら、興味や親しむ気持ちに繋げる。手足を動かしたり声を出したりする姿を温かく認め、楽しい雰囲気の中で秋を感じられるようにしたり表現力に繋げていく。
- **活：**異年齢児に興味を持ち、見つめたり触れ合おうとする。（ヒト・モノ）
環：「お兄ちゃん○○してるね」と視線から代弁したり、無理なく触れ合えるように仲立ちすることで異年齢児と関わる心地良さを感じられるようにする。
- **活：**運動会に向けてかけっこやトンネルくぐり、マットよじのぼり、体操等を楽しむ。（健やか・モノ）
環：保育者が笑顔と一緒に体を動かしたり、名前を呼んで誘い掛けたり触れ合うことで楽しい雰囲気の中、運動会に向けて体を動かせるようにする。
- **活：**保育者とのやりとりを通して言葉が出始める。（ヒト）
環：言葉が聞かれた時は笑顔で大いに認める。はっきりと口元を動かしながら分かりやすい言葉で関わったり、子どもが発した喃語や発声を反復したりしながら、発語に繋げたり発声できる音が増えるよう関わっていく。
- **活：**保育者とともに遊びを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：真似をしやすい身近な生活体験を取り入れて遊びに誘いかけ、つもり遊びを楽しめるようにする。つもり遊びを通して、認識する力や想像力、観察力等に繋げていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 日中と朝晩の寒暖差が出てくる時期。気温に合わせて衣類の調節を行い、快適に過ごせるようにしていく。また、探索活動などもしやすいよう、動きやすい服装への配慮も行う。
- 感染症の予防に配慮し、一人ひとりの体調に気を配る。いつもと違う様子が見られた際には、保育者同士連携し、家庭への連絡も適宜行っていく。
- 職員間で全員の運動発達を共有し、次のねらいに向けて同じ関わりが持てるようにする。
- 外靴を履く時は、サイズが合っているか確認する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- スタンプでハロウィンのかぼちゃ製作／ちぎり絵でどんぐり製作／にじみ絵でさつまいも製作

歌

- どんぐりころころ／まつぼっくり／やぎさんゆうびん

絵本

- おでこ ぴたっ／はしるの だいすき／おばけのばあ

手遊び

- やきいもグーチーパー／大きなクリの木の下で／やさいのうた

室内室外遊び

- （紙皿で簡単）落ち葉リース／ビー玉転がし／落ち葉でお面

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 十五夜（10/6）
- スポーツの日（10/13）
- 紅葉狩り（10/1～）
- 鉄道の日（10/14）
- ハロウィン（10/31）

食育

- 保育者の真似をしながら、食事の挨拶をしぐさや表情などで表現する。
- 手づかみで意欲的に食事を進める。
- スプーンに興味を持ち、使ってみようとする。
- 秋の野菜や果物を食べてみようとする。
- 歯や歯茎で噛んだりすりつぶしながら食べる。
- 保育者と食前の手洗いをしして清潔な状態で食べ始める。

異年齢保育

- 友だちをまねて遊具で遊ぼうとする姿が見られるため、安全に十分配慮しながら見守る。
- 給食では、友だちが意欲的に食べる姿を通じて、食への意欲が育つように関わる。
- 年上の友だちと関わる場面では、安心してやり取りできるように言葉を補い、仲立ちする。
- 異年齢の友だちとのわらべうたあそびを楽しめるよう、丁寧に声をかけながら関わる。
- 年上の友だちの遊びに関心を持つ気持ちを受け止め、心地よく一緒に遊べるよう仲立ちする。

職員間の連携

- 離乳食の進み具合について職員間で共通認識を持ち、子どものペースに合わせて進めていく。
- 戸外遊びではこまめに人数確認を行い、職員間で声をかけ合いながら、安全に配慮して見守る。
- 鼻水や咳など体調の変化が見られたときは、速やかに情報を共有する。
- 主活動や食事の準備における役割分担を明確にし、子どもがスムーズに動けるようにする。
- 午前中のケガやトラブルは、午後の職員にも正確に申し送り、全員が把握できるようにする。

地域と家庭との連携

- 秋冬に流行りやすい感染症について知らせ、予防の仕方などをお知らせする。また、家庭での体調不良が見られた場合、園に共有してもらえるようお願いをする。
- 朝晩は冷える日が多くなってくるので、体温調節しやすい服装をしてもらう。また、着替えも調節しやすいものを準備しておいてもらえるようお願いをする。
- 活発に活動するようになってくるため、動きやすい服装についても知らせていく。
- 運動会について知らせ、子どもと一緒に参加してもらえるようお願いする。
- 戸外でも歩行できるよう外靴の用意をお願いする。
- 睡眠の状況に応じて、調整できる寝具を用意してもらう。
- 手づかみ食べをしたりスプーンに興味を持ち始めていることを伝えて、家庭での参考にしてもらう。
- 園と家庭での様子を共有し合い、成長を喜び合う。

長時間保育の配慮

- 誤飲の恐れのある玩具は片付けたり、遊ぶスペースを分け、安全に配慮する。
- 睡眠や授乳など、個々の生活リズムを夕方の職員に伝え、快適に過ごせるようにする。
- 夕方に不安定な様子が見られるときは、スキンシップを取りながら、安心できるように関わる。
- 玩具の数や遊ぶ場所を十分に確保し、引っかきや噛みつきが起こりにくい環境を整える。
- 一人ひとりの気持ちを受け止めながら、安心して過ごせる環境づくりに努める。

自己評価

- 好きな場所で好きな遊びを楽しみ、機嫌よく過ごせていたか。
- 手づかみで意欲的に食べていたか。
- 苦手なものも食べてみようとする事ができたか。
- 保育者についてもらい、安心できる環境の中でぐっすりと眠ることができたか。
- 汚れたおむつや服はこまめに換え、心地よく過ごすことができたか。
- 自分の好きなところへ行って、機嫌よく好きな遊びを楽しんでいたか。
- 散歩に出かけ、保育者に見守られながら自然に触れて遊ぶことができたか。
- つたい歩きなどで移動し、探索活動を楽しんでいたか。
- 触れ合い遊びを楽しみ、身体を揺らしたり手を叩いたりする姿が見られたか。
- 指先を使った遊びを楽しむことができたか。
- 気温差に留意し、衣服調節をしながら心地良く過ごせるようにしたか。
- 保育者との信頼関係のもと、安心して声や行動で意思表示する姿が見られたか。
- 秋の野菜や果物を無理なく摂取しながら季節を感じられたか。
- 安心して運動会に参加することができるよう関わったか。
- 外靴で歩くことに慣れてきたか。
- 手を洗うことに意欲的な姿が見られたか。
- 一人ひとりの運動発達を考慮した安全な環境の中、体を動かすことを楽しめていたか。
- 発声することを楽しんだり、単語が聞かれるようになってきたか。
- 保護者と子どもの可愛さや成長を共有し合い、育児をする喜びを感じられるよう関わったか。
- 保護者が初めての運動会を安心して迎えられよう、丁寧に詳細を伝えたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

